

MMP1 ファームウェア アップデートガイド

ヤマハ製品をご愛用くださいます、まことにありがとうございます。

このガイドでは、MMP1 のファームウェアおよび内蔵している Dante モジュールのファームウェアをアップデートする手順を説明します。

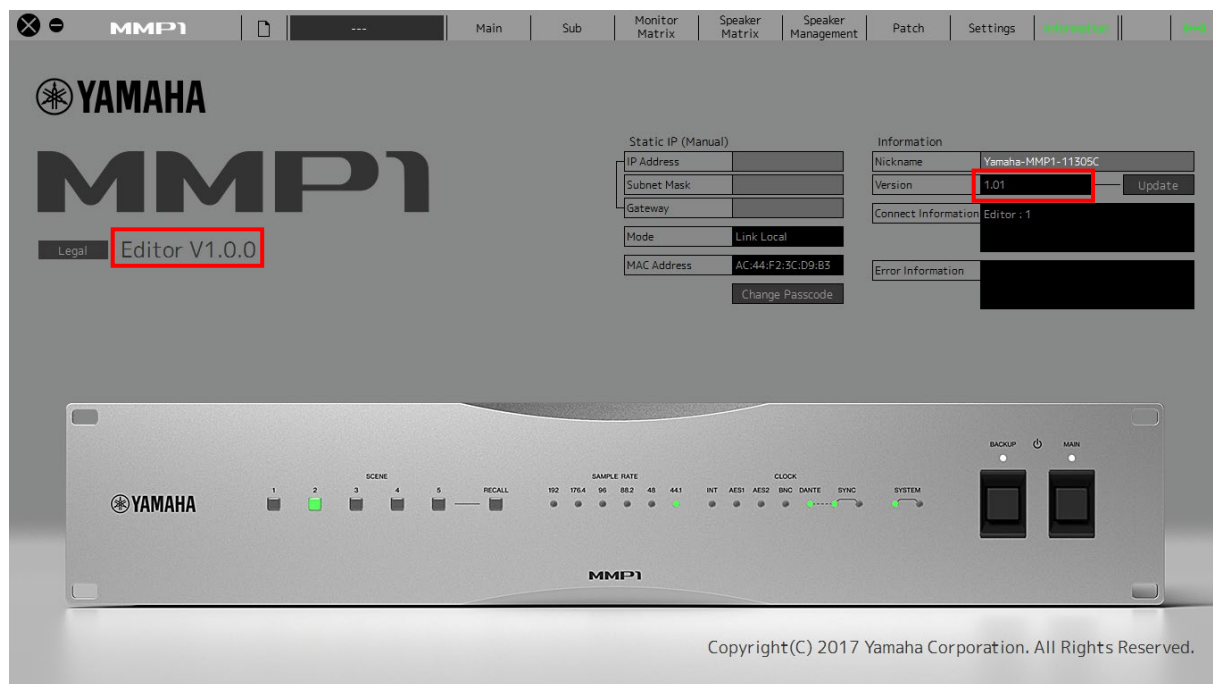
■ ご注意(必ずお読みください)

- アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行ってください。
- アップデートは 1 台ずつ行ってください。
- アップデート作業中(データのロード中)に機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このガイドに記載された手順と異なった操作をしたりすると、機器が故障する場合がありますのでご注意ください。
- アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても機器が正しく動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- MMP1 のファームウェアおよび本ガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- Dante ファームウェアとそのアップデートプログラムの著作権は、Audinate 社が所有します。
- ファームウェア、ソフトウェアおよび本ガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 本ガイドに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのものです。
- Audinate®、Audinate のロゴ及び Dante®は、Audinate Pty Ltd の登録商標です。
- その他、本ガイドに掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

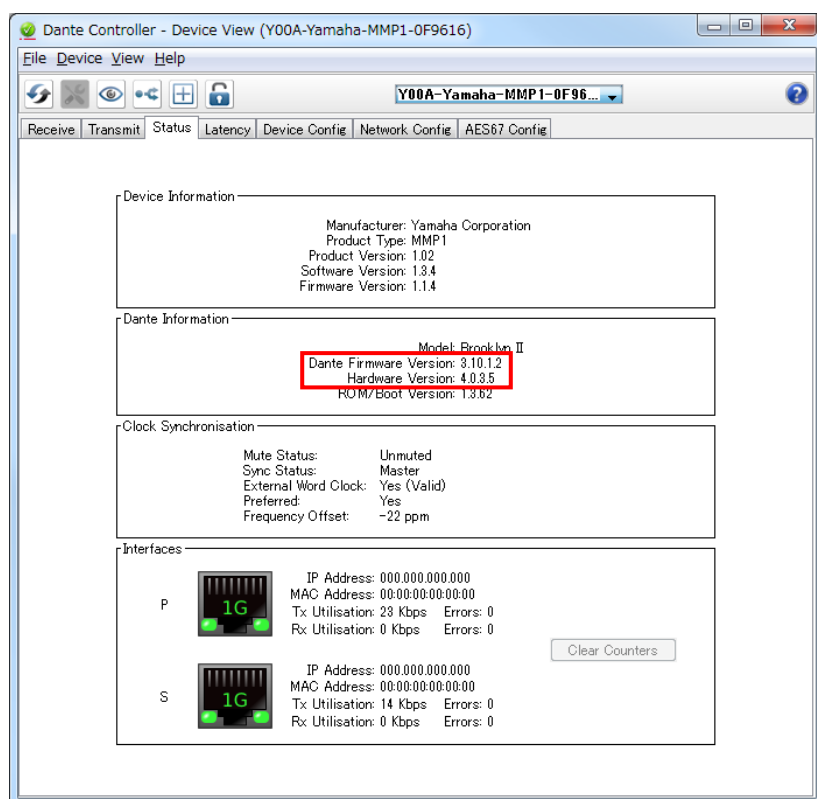
■ バージョンの確認方法

MMP1 Editor と MMP1 のファームウェアのバージョンは MMP1 Editor で、Dante ファームウェアのバージョンは Dante Controller で確認できます。

MMP1 Editor – Information 画面



Dante Controller – Device View 画面



■ アップデートの準備

アップデートには、以下のものをご用意ください。

- MMP1 Editor と Dante Controller が正常に動作しているコンピューター
- Ethernet ケーブル(CAT5e 以上を推奨。ストレート/クロスのどちらでも使えます。)
- 最新版の MMP1 Editor
- ファームウェア(Dante ファームウェアは、MMP1 と同じ圧縮ファイルに含まれています。)

NOTE

MMP1 Editor とファームウェアは、ヤマハのプロオーディオサイト(以下の URL)から最新版をダウンロードしてください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

■ アップデートの流れ

以下の流れでアップデートします。複数の MMP1 をアップデートする場合は、1 台ずつアップデートを繰り返してください。



* Dante ファームウェアのアップデート要否は、ヤマハのプロオーディオサイト(以下の URL)にある互換表をご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

■ MMP1 のファームウェアのアップデート

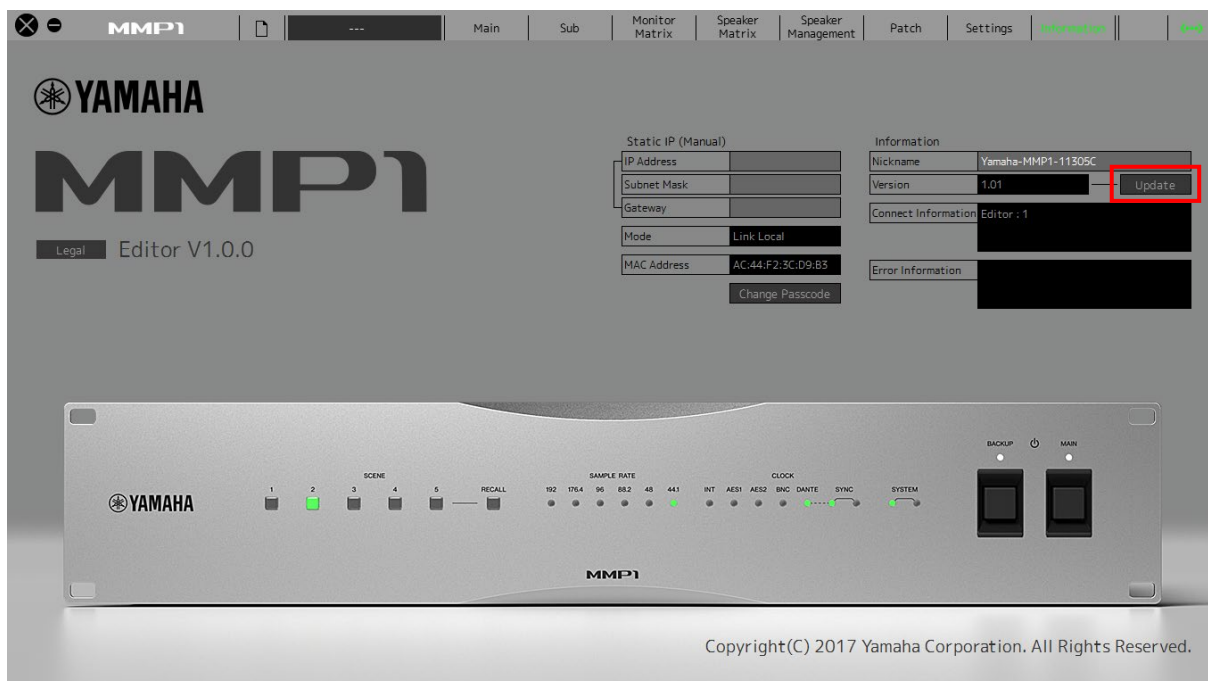
MMP1 のファームウェアをアップデートする手順を説明します。

ダウンロードした圧縮ファイルはあらかじめ解凍(展開)しておいてください。

ご注意

MMP1 のファームウェアをアップデートすると、シーン、スナップショットを除く MMP1 本体内のすべてのデータが消去されます。以下の手順では、MMP1 本体内のデータを一度 MMP1 Editor に移し、ファームウェアアップデート後に MMP1 本体に戻しています。

1. MMP1 Editor を最新版にアップデートします。
2. MMP1 Editor を開き「Administrator」としてログインします。
3. ファームウェアをアップデートする MMP1 に「CONNECT (MMP1→Editor)」で接続します。
4. MMP1 Editor の Information 画面を開き、「Update」をクリックします。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

5. 現在の設定を保存する場所を指定し、「保存」をクリックします。

「開く」ダイアログボックスが表示されます。

6. 解凍(展開)したファイルの中からファームウェアデータファイル

「MMP1_firmxxx.mmpf」を選択し、「開く」をクリックします。

xxx はファームウェアのバージョン番号を表します。

7. ファームウェアのバージョンを確認し、正しければ「Yes」をクリックします。

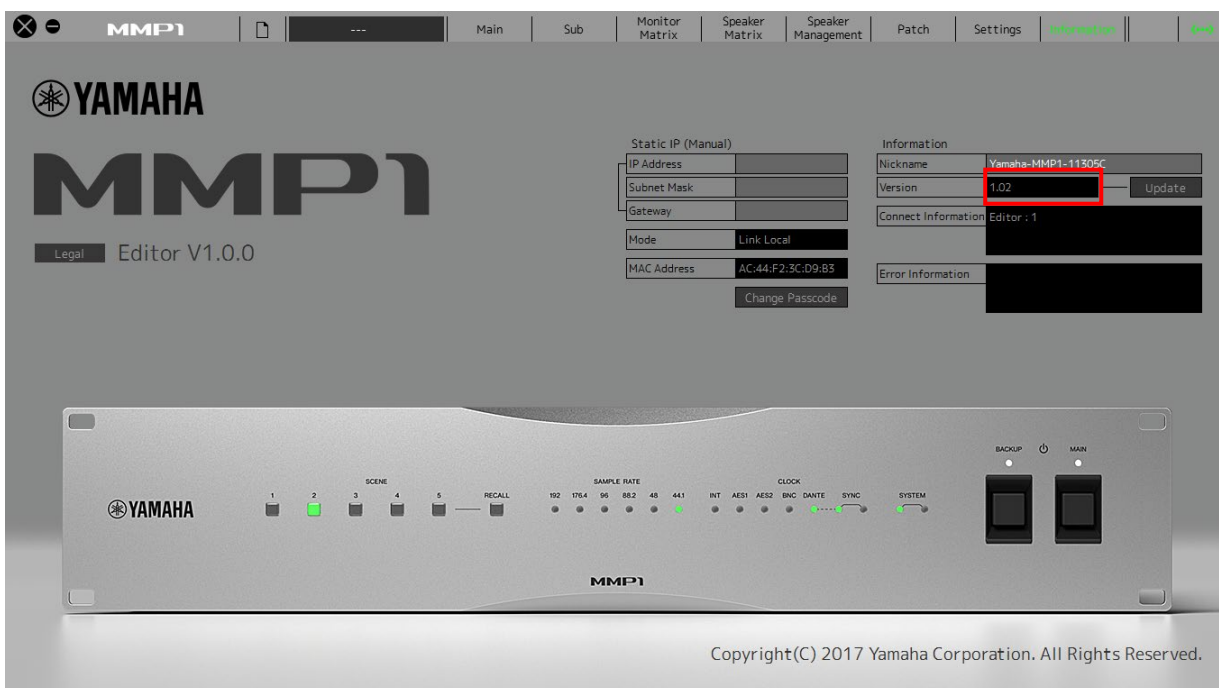
ファームウェアのアップデートが開始されます。

ファームウェアの読み込みが完了すると、「Update has been completed.」というメッセージが表示されます。

8. MMP1 本体を再起動して、MMP1 Editor と「CONNECT (Editor →MMP1)」で接続します。

誤って「CONNECT (MMP1→Editor)」で接続してしまった場合は、手順 5 で保存したファイルを読み込んで、再度「CONNECT (Editor→MMP1)」で接続しなおしてください。

9. MMP1 Editor の Information 画面でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認します。



以上でアップデートは完了です。

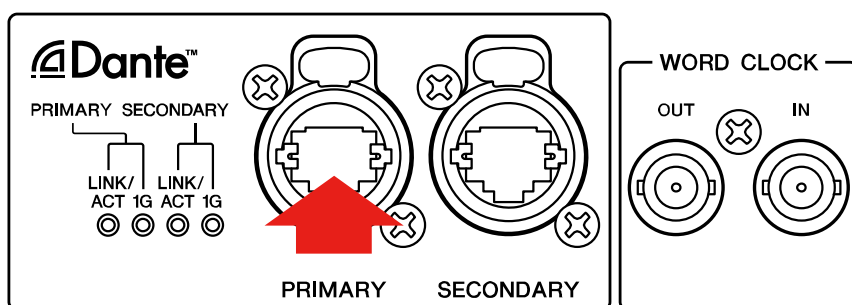
■ Dante ファームウェアのアップデート

MMP1 本体に内蔵している Dante モジュールのファームウェアをアップデートする手順を説明します。

この手順は、Dante ファームウェアのアップデートが必要な場合に行います。

1. MMP1 本体リアパネルにある Dante の[PRIMARY]端子とコンピューターの Ethernet 端子を Ethernet ケーブルで接続します。

必ずコンピューターと MMP1 本体を直結させ、他の Dante 機器をコンピューターにつながないでください。



2. Dante Updater を使用して、Dante モジュールのファームウェアをアップデートします。

Dante Updater を使ったアップデート方法は「Dante ファームウェアアップデートガイド」を参照してください。

MMP1 用 Dante ファームウェア「FWUpdate_MMP1_vxxx_swyyy.dnt」は圧縮ファイルの「DanteFirmware」フォルダーに入っています。

xxx と yyy はファームウェアのバージョン番号を表します。

3. MMP1 本体を再起動します。

以上でアップデートは完了です。

■フェールセーフモードについて

MMP1 に内蔵されている Dante モジュールは、動作時にソフトウェアをフラッシュメモリーからロードして使用しますが、他の記憶装置と同様に、フラッシュメモリーへの書き込み中に Dante 機器の電源をオフにしてしまうことにより、フラッシュメモリー上のデータが破損して使用不可能になることがあります。

これは多くの場合、ファームウェアのアップグレード中に MMP1 の電源をオフにしてしまうことに起因します。

この状態から回復するために、Dante モジュールには特別に保護されたフラッシュメモリー部があり、メイン部分が破損した場合にはその領域のプログラムが起動し、Dante モジュールは「フェールセーフモード」に入ります。

フェールセーフモードの Dante モジュールを修復するためには、リカバリーイメージを Dante Updater から送る必要があります。

Dante モジュールがフェールセーフモードになっているかどうかを確認するには、Dante Controller を使用します。

フェールセーフモードに入った Dante モジュールは、Dante Controller (バージョン 3.1.x 以上) のネットワークグリッドビュー上で機器名が赤色で表示されます。

以下に、MMP1 本体に内蔵している Dante モジュールをリカバリーする手順を説明します。

1. コンピューターと MMP1 の電源をオフにします。
2. MMP1 本体リアパネルにある Dante の [PRIMARY] 端子とコンピューターの Ethernet 端子を Ethernet ケーブルで接続します。

必ずコンピューターと MMP1 本体を直結させ、他の Dante 機器をコンピューターにつながないでください。

3. コンピューターの電源をオンにして管理者権限でログインします。
4. MMP1 の電源をオンにします。

5. Dante Updater を使用して、Dante モジュールをリカバリーします。

Dante Updater を使ったリカバリー方法は「Dante ファームウェアアップデートガイド」を参照してください。

6. Dante ファームウェアをアップデートします。

「[■Dante ファームウェアのアップデート](#)」の項の記述に従って、Dante モジュールのファームウェアをアップデートしてください。

7. MMP1 本体を再起動します。

以上でリカバリーとファームウェアのアップデートは完了です。